

特別講演 1

「外来における感染症治療」

神戸大学医学部附属病院 感染症内科 講師

大路 剛 先生

外来診療において感染症診療は最も頻度の高い疾患でありながら、診断から治療に難渋することはままあります。どのようなときに鑑別診断として感染症を考え、どのように診断していくかについてお話しします。

具体的には、

- ①発熱以外も含めたバイタルサインの異常から感染症を疑う理由
- ②自覚症状があるときの感染症診断
- ③自覚症状が無く発熱のみの感染症診断 ～感染症以外も含めて～
- ④特に難しい播種性感染症診断
- ⑤外来における感染症治療（経口抗菌薬と経静脈抗菌薬投与）

など、どのような検査をするかどのように治療をしてきたか私の経験および失敗を含め、お話ししたいと思います。